

[07]韓国研究センタ一年報

<https://hdl.handle.net/2324/2197539>

出版情報：韓国研究センタ一年報. 7, 2007-03-15. Research Center for Korean Studies, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

センター彙報

1) 2006年度活動報告

2006年4月～2007年3月

年	月	日	活動内容
2006	前期(4月～7月)		韓国理解講座 「韓国学への招待」
		5 19	第25回定例研究会 鄭英一先生（ソウル大名誉教授）
	6	9	第26回定例研究会 李栄薰（ソウル大経済学部教授）
		17	日韓国際シンポジウム 「在日朝鮮人文学の世界」
	8	1～7	第2回韓国学国際ワークショップ 「韓国学の新しい潮流」
		5	第27回定例研究会 李根（ソウル大国際大学院教授）
	9	2	日韓学生シンポジウム 「日韓大衆文化の潮流を探る」
		7	第2回日韓海峡圏学生サミット
		8・9	福岡－釜山フォーラム釜山シンポジウム 「日韓海峡圏：『国境を超える地域』協力モデルの模索」
		19	第28回定例研究会 金一栄（成均館大政治外交学科教授）
	10	23	福岡県民セミナー「日韓華道饗宴」 片山健（草月流） 朴忠姫（韓国生花協会理事長）
		30	福岡県民セミナー「日韓「こと」の競演」 河原伴子（箏演奏家） 金 美香（伽倻琴演奏家）
	11	10	第29回定例研究会 朴露子（オスロ大教授）
		18	福岡県民シンポジウム「日韓華の饗宴」 一ノ瀬梅岳（西日本華道連盟理事長）「花の舞：和の心を活ける」 趙 在 仙（韓国生花協会名誉理事長）「花の舞：韓の心を活ける」
		29	第30回定例研究会 李元範（東西大教授）
	12	16	日韓国際ワークショップ 「解放後と解放前：連続と非連続」
2007	1	19	第31回定例研究会 全京秀（ソウル大人類学科教授）
	2	12	日米韓3大学次世代研究者国際ワークショップ 「『植民地近代』研究の展望：在朝日本人のオーラルヒストリー」
	3	14	第32回定例研究会 浅羽祐樹（九州大学韓国研究センター）

2) 2006年度韓国国際交流財団奨学金受給大学院生業績一覧

(2007年3月現在)

氏名	所属	論文・口頭発表等
石橋 道秀	比較社会文化学府 博士後期課程	<p>【研究論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「長崎朝鮮風土記附り薩摩風土記」『韓国言語文化研究』12 (2006) 「『直茂公譜』から見える仮名書き朝鮮語イモハイ音韻分析」『葉隱研究』60 (2006) <p>【口頭発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「16세기말 한국남부지방'·'음가 북원' 인문대학 강연회 (서울대학교) 2006年9月 「16世紀末 '·'の表記選択に見える認識」社会言語学会 2007年 <p>【総説】</p> <ul style="list-style-type: none"> 翻訳：이승녕『中世韓国語文法』(花書院 2006) 比文叢書紹介「中世韓国語文法—15世紀語を主として」『Crossover』21 (2006)
川西 裕也	人文科学府 博士後期課程	<p>【口頭発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「朝鮮初期における官教文書様式の変遷」第57回朝鮮学会大会 (天理大学) 2006年10月 「朝鮮時代における紙背文書研究の現状と課題—九州大学石炭研究センター所蔵『芝峰類説』紙背文書の紹介を兼ねて—」九州史学会朝鮮学部会 (九州大学) 2007年12月
木村 貴	法学府 博士後期課程	<p>【口頭発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「法による『過去克服』の限界—『疑問死第1号』崔鍾吉事件を中心に」第7回現代韓国朝鮮学会大会 (静岡県立大学) 2006年11月
新城 道彦	比較社会文化学府 博士後期課程	<p>【研究論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「朝鮮統治と王族の関連性—李太王の国葬にみる朝鮮統治—」『次世代人文社会研究』2 (2006) 「이은(영친왕)·나시모토노미야 마사코의 결혼문제와 왕족의 양면성—정략결혼은 왜 필요했을까」『역사비평』75 (2006) 「Korea-Japan Joint Exploratory Study of Colonial Korea:Interview Study and Urban Field Survey of Gunsan (群山), Korea」『韓国言語文化研究』13 (2006) (松原孝俊・Chad Walker・申鎬・崔相振との共著) <p>【口頭発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「王族に対する対応策と3·1運動前後の朝鮮統治—李太王並びに李王の国葬を通して見た朝鮮統治」第57回朝鮮学会大会 (天理大学) 2006年10月 「왕족의 국장에서 본 조선통치의 体裁:3·1운동 전후에서 体裁의 연속성과 비연속성」国際ワークショップ「解放前と解放後:連続と非連続」(成均館大学校) 2006年12月
原 智弘	人文科学府 博士後期課程	<p>【研究論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大韓帝国における文官任用令—明治日本との対照を中心に—」『年報朝鮮学』10 (2007) <p>【総説】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「2005年の歴史学界 一回顧と展望— 東アジア 朝鮮 近現代」『史学雑誌』115-5 (2006)

氏名	所属	論文・口頭発表等
松岡 雄太	人文科学府 博士後期課程	<p>【研究論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「蒙学三書の編纂過程—“語套”の観点から見た“蒙文鑑”」『日本モンゴル学会紀要』36(2006) ・「満洲語の“ha bi-”と“-me bi-”」『満族史研究』5 (2006) <p>【口頭発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「満洲語文語の相(aspect)ー司訛院清学書を中心に」第215回朝鮮語研究会(大阪国際交流センター) 2006年
渡部 芳久	比較社会文化学府 修士課程	<p>【口頭発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「韓半島南部の松菊里型住居跡・堀立柱建物と集落構造」第55回埋蔵文化財研究集会(西南学院大学) 2006年8月(端野晋平・石田智子・奥野正人との共同発表) <p>【総説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『吉野ヶ里遺跡一国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告2』佐賀県教育委員会(2007)(分担執筆)

3) 人事異動

2006年

- 4月1日 浅羽祐樹 非常勤研究員再任
- 4月10日 鄭英一(ソウル大学校名誉教授)客員教授着任(6月15日離任)
- 4月19日 稲葉継雄(人間環境学研究院教授)第二代センター長着任
- 6月23日 李根(ソウル大学校教授)客員教授着任(8月31日離任)
- 9月4日 朴露子(Vladimir Tikhonov)(オスロ大学教授)客員教授着任(11月30日離任)
- 12月8日 全京秀(ソウル大学教授)客員教授着任(3月5日離任)

2007年

- 3月31日 浅羽祐樹 非常勤研究員離任
- 山本奈留美 事務補佐員離任

〈訂正とお詫び〉

前号第六号(2006)所収三ツ井崇「1930年代福井県における朝鮮人社会の動向と朝鮮人融和／統制団体の設立」中に以下の誤りがございました。慎んでお詫びすると共に訂正致します。

三ツ井崇氏の所属:同志社大学→早稲田大学
34頁 論文末尾の付記:〈4~5行目を削除〉